

1. 科目名 (単位数)	道徳の指導法 (中等) (2 単位)	3. 科目番号	SJMP3298
2. 授業担当教員	石川 勉		EDTS3307
4. 授業形態	講義、演習、ディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>学校は、子ども達の豊かな人格形成をしていく場である。その中核を担う道徳教育では、人間として、また社会の一員として主体的に生きるための基礎となる資質や能力である、豊かな道徳性の育成を図ることを目標としている。特に新学習指導要領では特別の教科「道徳」となり、道徳教育の必要性はより高まっている。本科目では、中学校学習指導要領を中心に道徳教育のあり方について学び、道徳教育の目標や内容について理解を深める。また道徳教育の歴史的変遷を学び、現在の道徳教育の内容、子どもの道徳性の発達特性に即した指導計画について検討する。そして道徳教育の授業理論や発達段階に応じた授業実践について学習し、道徳の学習指導案を作成できる能力を養う。その中で教科化に伴い、「読む道徳」から「考える道徳」へ、「教える道徳」から「議論する道徳」への授業の転換が求められており、新たな指導法についても学習していく。これらの学習内容を踏まえた上で、現在の道徳教育が抱える課題やについて考察していく。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.道徳教育の歴史的経緯を踏まえ、現在の道徳教育の目標や内容について理解し、説明することができる。 2.子どもの道徳性の発達理論について正しく理解し、発達段階に応じた道徳教育を行う指導力を養う。 3.道徳教育の全体計画、年間指導計画を理解し、学習指導案を作成する能力を身に付ける。 4.道徳教育の授業理論を理解し、特別の教科「道徳」で求められている実践的な指導力を身に付ける。 5.道徳教育の課題と展望について学び、道徳教育に対する自らの考えを深め、説明することができる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>アサイメントは毎週課す。基本的には、次回の講義内容にかかわるテキストを精読し概要を把握すること。そして、授業内容について自分の考えや意見をまとめること。提出課題は毎回ある。小テストは2回ある。また、学級における道徳の指導計画 (1 回) と道徳科学習指導案 (1 回) を完成すること。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 文部科学省『中学校学習指導要領解説 道徳編』教育出版、2018 年。 【参考書】 田沼茂紀『道徳科で育む 21 世紀型道徳力』北樹出版、2016 年。 【参考資料】 中学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省) 高等学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省) 生徒指導提要 (平成 22 年 3 月告示 文部科学省)</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 ・道徳教育の歴史的経緯を踏まえ、学習指導要領における道徳教育の目標や内容について理解し、現代における道徳教育の意義について自らの考えを深めることができたか。 ・子どもの道徳性の発達理論について正しく理解し、発達段階に応じた道徳教育の指導法について理解できたか。 ・様々な道徳教育の授業方法について学び、学習指導案を立案し、道徳の授業を実践することのできる力を身に付けることができたか。 ○評定の方法 ・平常点 (積極的参加度・授業態度・発表・発言等) 20% ・課題 (中間レポート・小テスト・ワークシート等) 40% ・期末評価 (レポート・試験等) 40%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>教職として必須な科目であり、道徳教育の実際について具体的に踏み込んでいく授業となる。道徳教育は全教育活動を通じて行うものであり、教科教育を基底で支える教育活動でもあるので、積極的な授業参加を心がけてほしいと期待している。令和元年・平成 31 年度から道徳が特別の教科 (中学校 小学校 30 年度より) となった。教育の目的が「人格の完成」ならば、まさに、道徳は教育の中心的な存在である。本講座は道徳教育について学ぶとともに、自分の生き方についても、しっかりと考える時間にして欲しい。</p>		
13. オフィスアワー	初回講義の際に連絡先・連絡方法を伝える。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション - 道徳教育について考える - (I 理論編第 1 章)	事前学習	これまで受けてきた道徳の授業について振り返る。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをノートにまとめ、分らなかつたところがあれば教員に質問する。
第 2 回	道徳と道徳教育 (I 理論編第 2 章)	事前学習	教科書 (pp. 18~33) を読み、分らない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをノートにまとめ、分らなかつたところがあれば教員に質問する。
第 3 回	道徳教育の歴史 (I 理論編第 3 章) - 明治時代から現代まで -	事前学習	教科書 (pp. 34~48) を読み、分らない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをノートにまとめ、分らなかつたところがあれば教員に質問する。

第4回	道徳性の発達（Ⅰ理論編第4章）	事前学習	教科書（pp.49～64）を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをノートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第5回	道徳教育の方法論的基礎（Ⅰ理論編第5章）	事前学習	教科書（pp.65～79）を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをノートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第6回	学校教育における道徳教育（Ⅱ実践編第1章）	事前学習	教科書（pp.82～97）を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをノートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第7回	学習指導要領「特別の教科 道徳」（Ⅱ実践編第2章）	事前学習	教科書（pp.98～112）を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをノートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第8回	道徳教育の学習指導案（Ⅱ実践編第3章）	事前学習	教科書（pp.113～124）を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをノートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第9回	授業の実践例（Ⅱ実践編第4章）	事前学習	教科書（pp.125～152）を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをノートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第10回	道徳教育の授業理論 - 価値明確化 -	事前学習	配布資料を読み、自分の考えをまとめておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをノートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第11回	道徳教育の授業理論 - モラル・ジレンマ -	事前学習	配布資料を読み、自分の考えをまとめておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをノートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第12回	道徳教育の授業理論 - 構成的グループエンカウンター -	事前学習	配布資料を読み、自分の考えをまとめておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをノートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第13回	中学校1学年の道徳科模擬授業	事前学習	模擬授業に必要な資料を揃え、イメージトレーニングしておく。
		事後学習	模擬授業の振り返りシートを作成し、模擬授業の反省をする。
第14回	中学校2学年の道徳科模擬授業	事前学習	模擬授業に必要な資料を揃え、イメージトレーニングしておく。
		事後学習	模擬授業の振り返りシートを作成し、模擬授業の反省をする。
第15回	中学校3学年の道徳科模擬授業	事前学習	模擬授業に必要な資料を揃え、イメージトレーニングしておく。
		事後学習	この授業を踏まえて、教師になった際にどのような道徳の授業を行うのかについて考えをまとめる。
期末試験			